

令和7年7月23日

関係各機関の長 殿

徳島大学薬学部長
小暮健太朗〔公印省略〕

教授候補者の公募について(依頼)

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、徳島大学大学院医歯薬学研究部では薬科学部門・創薬科学系・分析科学分野担当の教授を下記の要領で公募することとなりました。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮ですが、貴学(機関)又は関係方面に適任者がおられましたら、下記によりご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 1 募集人員 教授1名(専任) (任期の定めなし:定年年齢65歳)
- 2 所 属 大学院医歯薬学研究部・薬科学部門・創薬科学系・
分析科学分野
- 3 採用予定日 令和8年4月1日
- 4 応募資格(次のすべての要件を満たすこと)※ 本文書中では、研究室名である「分析科学」と研究領域である「分析化学」を使用しています。
 - (1) 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む)を有する者
 - (2) 次の各要件に該当する者
 - ① 環境物質や生体成分の高感度・高速分析、臨床試料の微量・高速分析や医薬品製剤の評価(レギュラトリーサイエンス)、新規モダリティの医薬品化への寄与を含めた分析化学領域において、革新的な分析理論及び技術開発研究に精力的に取り組める者
 - ② 薬学教育全般への熱意と高い見識のもと、学部・大学院教育を通じて世界の分析化学領域で活躍できる人材を育成する意欲を有する者
 - ③ 分析科学分野において公正な管理運営を行い、大学院医歯薬学研究部及び薬学部の発展に貢献できる者
 - ④ 徳島大学の管理と運営に卓越した見識と能力を有する者
- 5 担当科目
 - (1) 大学院生に対する分析化学・創薬関連の講義及び演習、学位論文指導

- (2) 学部学生に対する分析化学関連の講義・実習、リメディアル教育、早期体験学習、実務実習事前学習、CBT、OSCE、実務実習及び卒業研究指導

6 提出書類

- (1) 履歴書 1部 (添付履歴書用紙に記入してください。) 及びそのコピー2部
 (2) 業績目録 (A4判、下記「7 業績目録等記入要領」に従って作成してください。) 3部
 (3) 研究概要 (A4判2枚 関連する論文番号を記入するなど、分かりやすく記載してください。) 3部
 (4) 教育に関する抱負 (A4判1枚) 3部
 (5) 研究に関する抱負 (A4判1枚) 3部
 (6) 担当授業科目一覧 3部

(A4判(縦)横書きで、2024年度及び2025年度の担当授業科目等について記載すること。他大学等の授業担当科目等もすべて記載(「授業担当科目」欄に大学名等を記載)すること)

(作成例) 授業担当科目一覧表 (2024年度、2025年度)

授業科目名	担当年度	年間担当時間数	特記すべき授業内容
〇〇学	2024、2025	前期 15 時間	
〇〇実習	2024	後期 30 時間	
(教育に関する特色等があれば記載してください。(400字以内))			

- (7) 2021年度以降のFD・教育セミナー等の参加状況について (A4判) 3部

(作成例)

主催	年 月 日	名称
〇〇大学	2022年〇月〇日	研究倫理に関するFD

- (8) 2021年度以降の学内・学外での委員歴 (A4判) 3部

(作成例)

名称	年度
〇〇大学〇〇学部・〇〇委員会(副委員長)	2022年度

- (9) 科学研究費補助金、その他の助成金等の受領状況一覧 (A4判、下記「7 業績目録等記入要領」に従って作成してください。) 3部

- (10) 論文別刷 主要なもの10編以内(総説を含む)を各3部(コピー可)
 (11) 上記(1)～(9)の提出書類の内容を含む電子ファイル(ファイル形式は、PDF及びMS-Word)(CD-R) 2枚
 なお、推薦書があれば提出してください。

7 業績目録等記入要領

- (1) 学術論文、総説、著書、学会などにおける招待講演、学会発表(2020年7月以降のもの。国内学会と国際学会を分けること)、特許、その他の順に記入のこと

- (2) それぞれ発行又は発表の古い順に記入し、通し番号を付すこと
 - (3) 学術論文、総説、著書は英文、和文に分けて記入のこと
 - (4) 無審査の Proceeding 等はその他に入れること
 - (5) 発行又は発表年は西暦で記入すること
 - (6) 学術論文は公表済みのもの及び掲載が決定されたものを記入することとし、掲載が決定されたものについては、それを証明する文書（写）を添付すること
 - (7) 著者名が複数の場合には、当該学術論文又は著書等に記載の順番通りに全氏名を記入し、本人氏名にアンダーラインを引くこと
 - (8) 学術論文、総説については、直近のインパクトファクター（2024 年）も記載すること
 - (9) 科学研究費補助金、その他の助成金等の受領状況一覧は、省庁等の名称、代表・分担の別、名称（種別）、受領年度（継続の場合は、初めの年度から終わりの年度まで）、金額（直接経費と間接経費は分けて記載すること）、研究課題名、研究分担者の場合は代表者の研究課題名及び所属機関・職・氏名を記載すること
- 8 提出締切 令和 7 年 9 月 19 日（金曜日）午後 5 時（必着）
- 9 提出先及び問い合わせ先

〒770-8505 徳島市庄町 1 丁目 78 番地の 1

徳島大学薬学部長 小暮健太郎

Tel : 088-633-7250 Fax : 088-633-9517

E-mail : kogure@tokushima-u.ac.jp

(注) 郵送の場合は「分析科学分野応募書類在中」と朱筆し、「書留」にて送付してください。なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

10 その他

- (1) 大学院医歯薬学研究部・薬科学部門・創薬科学系・分析科学分野担当の教授は、大学院薬学研究科の分析化学・創薬関連教育を担当し、薬学部・分析科学分野の教授を併任します。
- (2) 給与は年俸制です。
- (3) 選考の過程で本学にて講演会と面談を行う場合があります。その際の旅費は自己負担となります。
- (4) 徳島大学の教員選考においては、国籍、性別及びハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公正な選考を行います。
- (5) 徳島大学は様々な取組により男女共同参画を推進しており、教員公募においても女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
- (6) 提供していただいた個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
- (7) 給与などに関する照会先

徳島大学法人運営部人事課蔵本人事係

Tel: 088-633-7018 Fax: 088-633-7474

E-mail: jnjin2c@tokushima-u.ac.jp